

LSZ 基調講演「最先端バイオ医薬・ヘルスケアと分析機器の役割 ～ヘルスケア・臨床が近づくバイオメディカルへの道～」

講演日	開始時間	終了時間	名前	所属・役職	講演タイトル	
9/5(水)	10:20	10:40	河野 典厚	国立研究開発法人日本医療研究開発機構創薬戦略部・部長	日本の創薬環境とAMEDの取り組み	
	10:40	11:00	休憩(20分)			
	11:00	11:45	永山 治	中外製薬株式会社・代表取締役会長	医薬品産業が直面する課題と解決の方向性	
	11:45	12:15	休憩(30分)			
	講演テーマ:創薬におけるクリニカルDNAとバイオバンクの役割					
	12:15	12:20	岡野 和広	アクトメッド株式会社・事業開発ディレクター 一般社団法人クリニカルバイオバンク学会・理事	バイオバンク、クリニカルシーケンスからヘルスケアビジネスへの道	
	12:20	12:45	武藤 学	京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座・教授	京都大学病院におけるクリニカルバイオリソース事業	
	12:45	13:10	Shu-Jen Chen	ACT Genomics Co., Ltd.	Next generation molecular diagnosis for precision oncology	
	13:10	13:35	Timo Kanninen	Chief Architect and Founder BC Platforms AG	Next Generation Biobanks - Collaboration and research made safely and efficiently -	
	13:35	13:55	ディスカッション(上記4氏による)			
	13:55	14:15	休憩(20分)			
	講演テーマ:次世代ヘルスケアと薬づくり～デジタルテクノロジーに牽引される変革を語る～(ICA)					
	14:15	14:25	神沼 二真	NPO法人 サイバー絆研究所・代表	製薬企業と患者・生活者との共創	
	14:25	14:50	瀧 靖之	東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター・副センター長	大規模脳画像データベースから見る脳の発達、加齢と認知症	
	14:50	15:15	益崎 裕章	琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)・教授	分子栄養学と脳科学による健康長寿へのアプローチ:沖繩の試み	
	15:15	15:40	堤 浩幸	株式会社フィリップス・ジャパン・代表取締役社長	未定	
	15:40	16:00	ディスカッション(上記4氏による)			
9/6(木)	10:20	11:00	高垣 洋太郎	日本薬科大学・客員教授	ポストゲノム時代のライフサイエンス:20世紀遺伝子決定論からのパラダイムシフト	
	11:00	11:20	休憩(20分)			
	グローバル創薬とバイオサイエンスの役割 (11:20-16:35)					
	11:20	11:30	Heather Juzwa	Shimadzu Scientific Instruments, Inc. Pittsburgh Conference on Analytical Chemistry and Applied Spectroscopy (Pittcon)	Opening Remarks & Introduction of Pittcon	
	11:30	11:50	Benjamin F. Mann	Merck Sharp & Dohme Corporation	New Technologies to Accelerate Drug Discovery and Development	
	講演テーマ:クライオ電顕の役割(仮)					
	11:50	12:15	岩崎 憲治	大阪大学蛋白質研究所・准教授	大学共同利用施設に整備された最先端クライオ電子顕微鏡施設	
	12:15	12:40	吉川 雅英	東京大学大学院医学系研究科生体構造学分野・教授	遺伝学とクライオ電子顕微鏡による細胞構造解析	
	12:40	13:05	R. Holland Cheng	University of California, Davis	CryoEM and multimodal imaging towards a nanoplatfrom to design next generation of cancer theranostics	
	13:05	13:30	難波 啓一	大阪大学大学院生命機能研究科・特任教授	生体分子の原子レベルの立体構造解析法として進歩したクライオ電子顕微鏡法の最近の動向	
	13:30	13:50	ディスカッション(上記4氏による)			
	13:50	14:10	休憩(20分)			
	講演テーマ:質量分析に求める課題(仮)					
	14:10	14:35	高尾 敏文	大阪大学蛋白質研究所・教授	質量分析が切り拓く未来	
	14:35	15:00	Markus Stoeckli	Novartis Institutes for BioMedical Research Analytical Sciences & Imaging Senior Investigator	Imaging of Proteins in Biomedical Research - from Structure to Distribution	
	15:00	15:25	Cinzia Stella	Genentech	Use of 2D-LC (two-dimensional liquid chromatography) for the analysis of biotherapeutics.	
	15:25	15:50	Christopher J. Welch	Welch Innovation, LLC	Recent Advances in Supercritical Fluid Chromatography	
15:50	16:15	松田 修一	小野薬品工業株式会社 探索研究部 第3グループ	創薬標的に作用する化合物の探索 -質量分析にできること-		
16:15	16:35	ディスカッション(上記5氏による)				
9/7(金)	講演テーマ:創薬開発とシステムバイオロジーの進歩					
	10:20	10:45	松岡 由希子	株式会社SBX・ディレクター	バイオメディカル研究開発を支えるテクノロジーフレームワーク	
	10:45	11:10	松田 史生	大阪大学大学院情報科学研究科バイオ情報工学専攻・教授	薬剤耐性の代謝アダプテーションのトランスオミクス解析	
	11:10	11:35	飯田 順子	大阪大学 島津 分析イノベーション共同研究講座・招聘教授	世界初を目指すマルチオミクス解析パッケージの開発	
	11:35	12:00	清田 純	国立研究開発法人理化学研究所 医科学イノベーション/ハブ推進プログラム健康医療データAI解析標準化ユニット・ユニットリーダー	システムバイオロジーからシステムメディスンへ	
	12:00	12:20	ディスカッション(上記4氏による)			
	12:20	13:15	休憩(55分)			
	講演テーマ:AI・ICT革命による現状と未来社会予測					
	13:15	13:40	生島 高裕	株式会社数理先端技術研究所・代表取締役	AIの進歩による、IoT・知識ベースの未来予測	
	13:40	14:05	橋田 浩一	東京大学大学院情報理工学系研究科・教授	分散PDS: 個人の意思に基づくヘルスケアデータの安全で安価な活用	
	14:05	14:30	畑中 洋亮	東京慈恵会医科大学先端医療情報技術研究講座・後期博士課程	スマホで始まる未来の医療 ~現場を活かし経営に資する身近なICTによる構造改革~	
14:30	14:50	ディスカッション(上記3氏による)				

\*本プログラムは予定のため予告無く変更する場合があります。